



TITLE:

和歌山県白浜町番所崎に打ち上がったイガイ(二枚貝綱, イガイ科)の新鮮な死亡個体

AUTHOR(S):

久保田, 信

CITATION:

久保田, 信. 和歌山県白浜町番所崎に打ち上がったイガイ(二枚貝綱, イガイ科)の新鮮な死亡個体. 南紀生物 2015, 57(1): 70-70

ISSUE DATE:

2015-06-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/198794>

RIGHT:

発行者の許可を得て登録しています.

和歌山県白浜町番所崎に打ち上がったイガイ (二枚貝綱, イガイ科) の新鮮な死亡個体

久保田 信*

Shin KUBOTA : Fresh dead individual of *Mytilus coruscus* GOULD, 1861 (Bivalvia, Mytilidae)
washed ashore at Banshozaki in Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

はじめに

二枚貝類イガイ科に属するイガイ *Mytilus coruscus* GOULD, 1861 は、北海道から九州の潮間帯から水深 20 m の岩礁に生息する (黒住, 2000)。著者は京都大学瀬戸臨海実験所へ赴任して以来、過去 20 年余り白浜町の番所崎や“北浜”および“南浜”で生物の打ち上げ調査を実施してきたが、今回、死亡したばかりのイガイが初めて打ち上がったので報告する。

結果と考察

イガイの貝殻のみが番所崎や“北浜”へごく稀に打ち上がることはあるが (久保田・小山, 2002.), この区域では非常に珍しいイガイの死亡個体が、2014 年 8 月 12 日に番所崎洞門のすぐ西側の磯に打ち上がっていた。この個体には軟体部が全て残っており、腐臭もせず新鮮であった (図 1)。その貝殻の前後軸長は 63 mm で、本種としてはやや小型であった (図 2)。

筆者は約 20 年前に、和歌山県田辺湾口に位置する塔島の先端にある岩礁部の潮間帯で、本種の生体が少数だけ付着していたのを目撃したが、その後ずっとこの海域の潮間帯のどこにも姿を見せなくなった。それ故、今回の本個体の初漂着は特記される。この現象の原因は 2014 年 8 月 9 日から 11 日にかけての台風 11 号がもたらした激しい波浪により、付近に生息していたイガイが付着基盤から剥がされて打ち上げられたと推察される。本個体は 95% アルコールで固定して保存した。今後は田辺湾口付近の潮間帯以深でのこの種の生態調査が望まれる。

引用文献

黒住耐二. 2000: イガイ科. 奥谷喬司 (編著) 日本近海産貝類図鑑, 862-877. 東海大学出版会, 神奈川.



図 1, 2 和歌山県白浜町番所崎 (洞門の西側の磯) に打ち上げられたイガイの死亡個体 [図 1 (上) 腹面; 図 2 (下) 側面]

Fig. 1, 2. Dead individual of *Mytilus coruscus* GOULD, 1861 washed ashore at the Banshozaki (rocky shore just west of Domon) in Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan [Fig. 1 (top) ventral view; Fig. 2 (bottom) side view].

久保田 信・小山安生. 2002: 番所崎, 特に“北浜” (和歌山県白浜町) へ打ち上げられた軟体動物貝殻目録 (2). 南紀生物, 44 (2): 133-139.

* 〒 649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459 京都大学フィールド科学教育研究センター 瀬戸臨海実験所
Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center, Kyoto University, Shirahama 459,
Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan
e-mail: kubota.shin.5e@kyoto-u.ac.jp